

文芸きくち

万句の里俳句会 3月例会

春雷の闇を震はす二つ三つ
 一と雨にまるまる太りたる春子
 菜の花や広がりひびる畔の道
 湧水の重なり合ふて春の川
 朝毎に鶯の声滑らかに

中路 郁子
 川口 二子
 守井理恵子
 岩木 敬治
 加藤 妙子

せせらぎ俳句会 3月例会

初花の今はじけむと膨らみし
 晴れやかにコサージュ胸に卒業す
 巢立つ娘にせめても母の粉白粉
 校庭に飛び出す声や風光る
 この春に期待した拉致また無念

五丁 義昭
 藤本アツ子
 森 正子
 坂崎ユキ子
 青木ユリ子

旭志文芸教室俳句の会 3月詠草

リハビリに地藏参りや霜の径
 草取りの媪に四温ありがたく
 老兵の語る昭和史山笑う
 梅香る阿蘇のすそ野で句会かな
 雲垂れて岸辺静かに浮寝鳥

芹川のり子
 水谷 ミネ
 芹川 蓉子
 藤本けい子
 中尾ヨシコ



七城短歌会 3月詠草

講座後はお茶会友の本前のお手前戴く香と味しみる
 北山のけふる麓に夕陽差し四半円なる虹のあざやく
 鴨が庭木に住き来し啼き騒ぐおだしき朝の時をば破り
 日当たりに今朝も出する君子蘭余所に劣らぬ花を見たくて
 サイレンに合わせて黙禱妻と我東日本震災八年経し今日

高木 精
 佐々 重弘
 嶋田 晴美
 緒方 寛子
 緒方 正俊

「里」短歌会 3月詠草

狭庭辺にヒマワリの種飛来して希望湧きくる改元の春
 裏山で鶯朝練特訓中ホーホケホケホーホケキョー
 寒越えし太き高菜を採りゆけば漬け物小屋の母が頭ちくる
 空間に友の祈りの響き来て夫と吾とは頭垂れ聴く
 黄に染まる循環バスの窓の外はわれにやさしき春の溢るる

梶原美智代
 松本 和子
 岩本サヨ子
 江頭 桂子
 山城 雅子

溪流短歌会 4月詠草

仰ぎ見る天守閣の白き屋根曇天の空に聳えて高し
 八十路越え山道険し挨拶をした人誰と過ぎし日手繰る
 牧水も白秋も知らぬパソコンによみがえる歌叶はぬ恋の
 狭庭辺に紅梅枝垂れ咲きみだれ侘助一輪ひっそりと咲く
 新元号万葉集より出典と心湧きくる五月一日

岩根 博恵
 堤 よしみ
 中川 愛子
 田中 遙子
 山田 弘子

菊池短歌会 4月詠草

菊池野にかすみは立ちて日輪の影おぼろなり母の逝く朝
 宮崎の大会までの日を数ゆ激しき咳にベッド揺らしつつ
 死亡するおそれもありしチアノーゼ授乳のミルク出すぎし事件
 花桃の上枝に囀るうぐいすの瑠璃色の声に里は華やぐ
 我が阿修羅さへまどろみ春をひとつ忘れず辺野古の無惨

安藤 則子
 川口すみ子
 古賀 勝士
 中川 愛子
 怒留湯健蓉

入会希望など詳しくは、
 それぞれの句会や歌会
 にお尋ねください。

万句の里俳句会
 せせらぎ俳句会
 旭志文芸教室俳句の会

井芹 ☎090(1342)2151
 藤本 ☎0968(38)4087
 中尾 ☎0968(37)2578

七城短歌会
 「里」短歌会
 菊池短歌会

佐々 ☎0968(24)3761
 木原 ☎090(5284)2418
 古賀 ☎0968(25)1764